

# 川越市 地震ハザードマップ



〈保存版〉

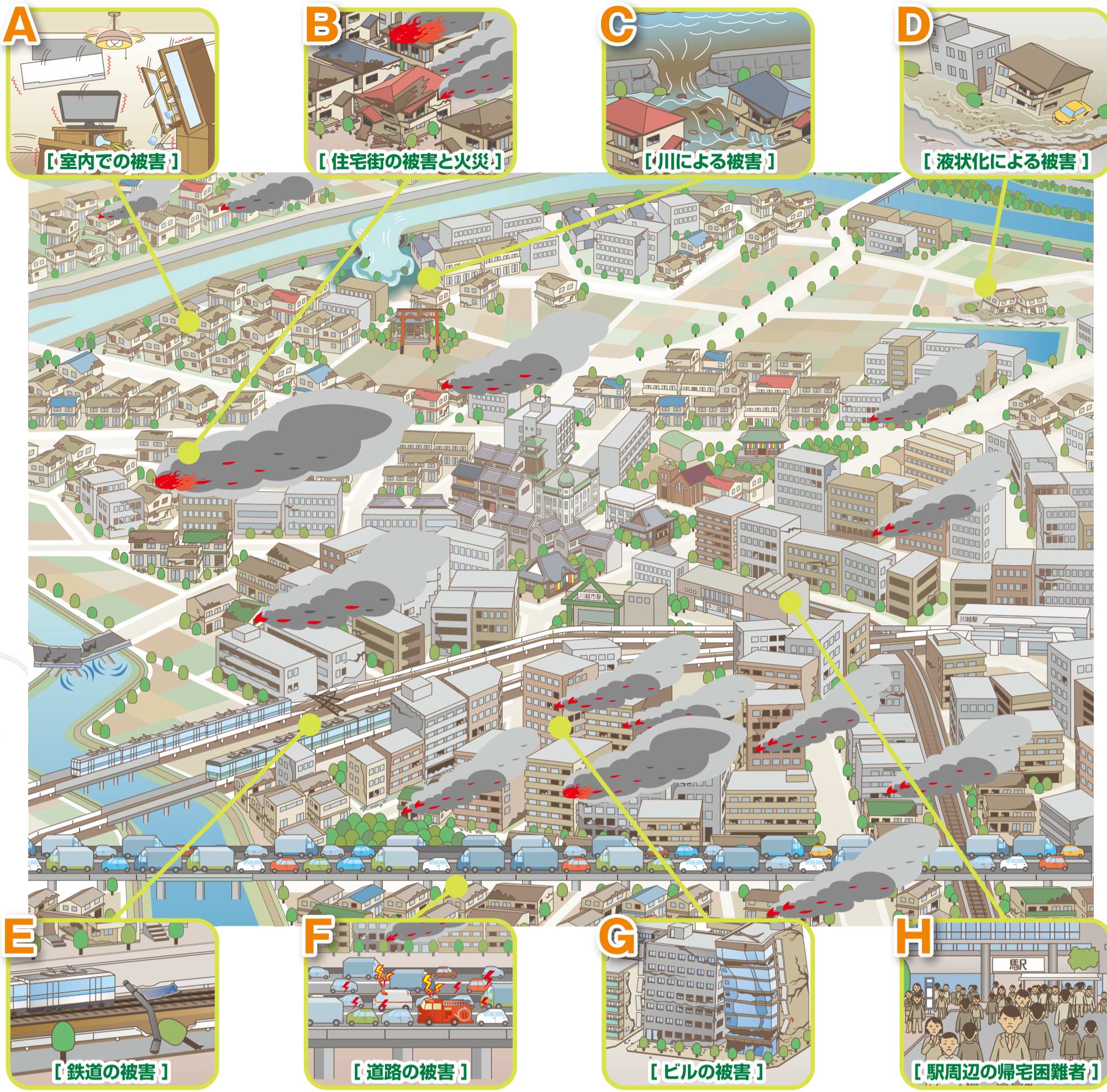


いざという時に、備えて安心。ご家庭でも防災対策を!

地震ハザードマップとは、地域への影響が大きい地震を想定し、震度や、地域の建物被害の発生割合を予測して避難場所の情報などと合わせてマップに示したものです。このマップを利用して、住宅の耐震化・家具の固定などの防災対策や地震発生後の避難などに役立てましょう。

発行：川越市 防災危機管理室 電話：049-224-8811(代表) 049-224-5554(直通)  
発行日：令和5年4月

## 大地震が起きるとどうなるの？



- A【室内での被害】**  
地震のゆれにより、固定していないタンスや本棚などの大型家具・電気製品が転倒・落下します。
- B【住宅街の被害と火災】**  
耐震性の低い建物は倒壊します。また、住宅密集地では複数箇所を同時に火災が発生し、延焼により大規模火災となる場合があります。
- C【川による被害】**  
堤防が壊れ、浸水することがあります。
- D【液状化による被害】**  
川沿いの低地などでは、液状化による建物被害や道路被害、水道などの埋設物被害が発生します。
- E【鉄道の被害】**  
地震のゆれによって線路が変形し、運行できなくなり、運行の再開までに時間がかかります。
- F【道路の被害】**  
高速道路や国道は交通規制などにより渋滞が発生します。一般車両の渋滞が、消防車や救急車など緊急車両の救急・救助活動を妨げる原因となります。また、倒壊した建物や橋の崩落により道路が寸断されます。
- G【ビルの被害】**  
ガラスや外壁、看板などが落下したり、建物が倒壊したりします。
- H【駅周辺の帰宅困難者】**  
鉄道やバスなどの公共機関が運休すると、多くの人々が、駅などに滞留します。中には自宅に戻ることができない帰宅困難者も発生します。

## 地震が起きたら 地震時の行動チャート

### ゆれたら、落ち着いて行動を!

大地震が発生したときは、慌てて行動すると命取りになります。落ち着いて行動するために、「行動チャート」を参考に、地震後の行動をイメージしましょう。



## 地震ハザードマップについて

### 大地震は、いつどこで発生してもおかしくありません!

この「川越市地震ハザードマップ」は、「平成24-25年度埼玉県地震被害想定調査」によって想定された5つの地震のうちで川越市に最も影響のある「関東平野北西縁断層帯地震(破壊開始点:南)」が発生した場合に、ゆれや建物被害がどの程度になるかを想定し、次の3種類のマップに図示しています。

- 予想される震度を表した「ゆれやすさマップ」
- ゆれにより予想される建物の倒壊率を表した「地域の危険度マップ」
- 液状化の危険度を表した「液状化危険度マップ」

大地震は、いつどこで発生してもおかしくありません。私たちは、地震の発生を防ぐことはできませんが、建物の耐震化や家具の固定など、地震に対する事前の備えを行うことで、被害を小さくすることは可能です。

いざというときに備えて、このマップで自分の住んでいる場所や地域の危険性を確認し、地震に備えておきましょう。

### 活用のしかた

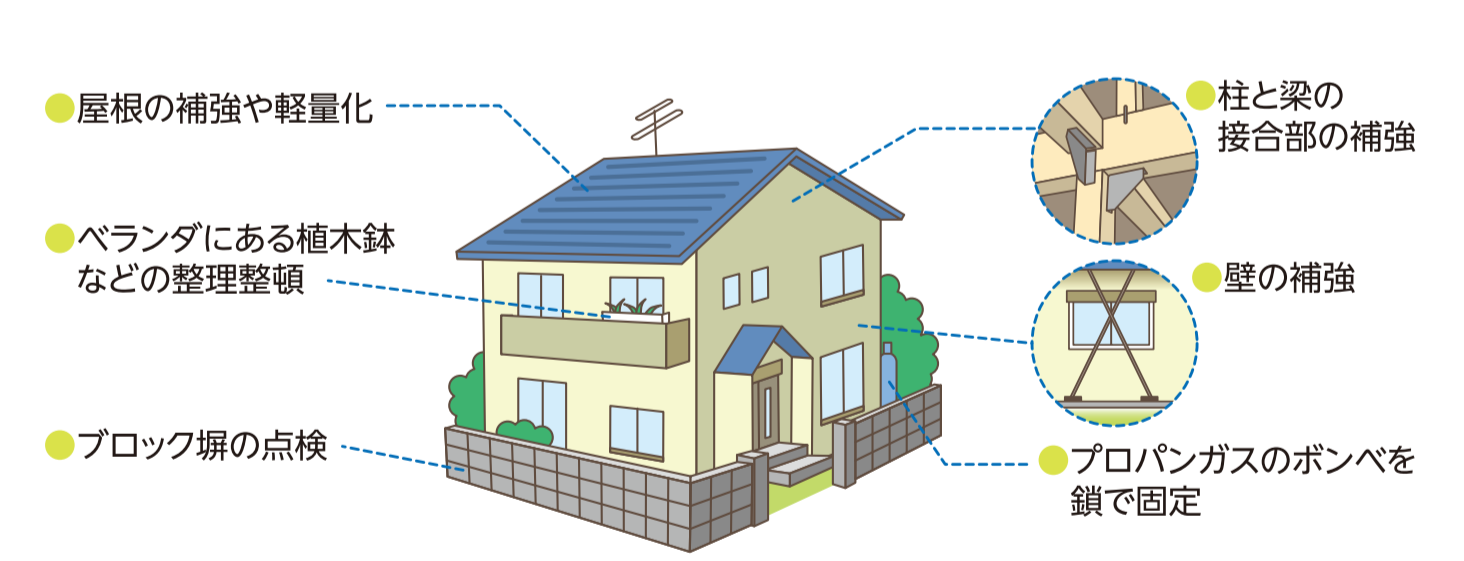
- 家族で話し合い**
- まちあるきによる危険箇所の確認**
- 地域での防災活動**

## 地震に備える

### 被害を防ぐ

阪神・淡路大震災の死因の8割は、家の倒壊や家具等の転倒による圧死です。事前の対策を十分に行うことが重要です。

#### 安全な家になろう!

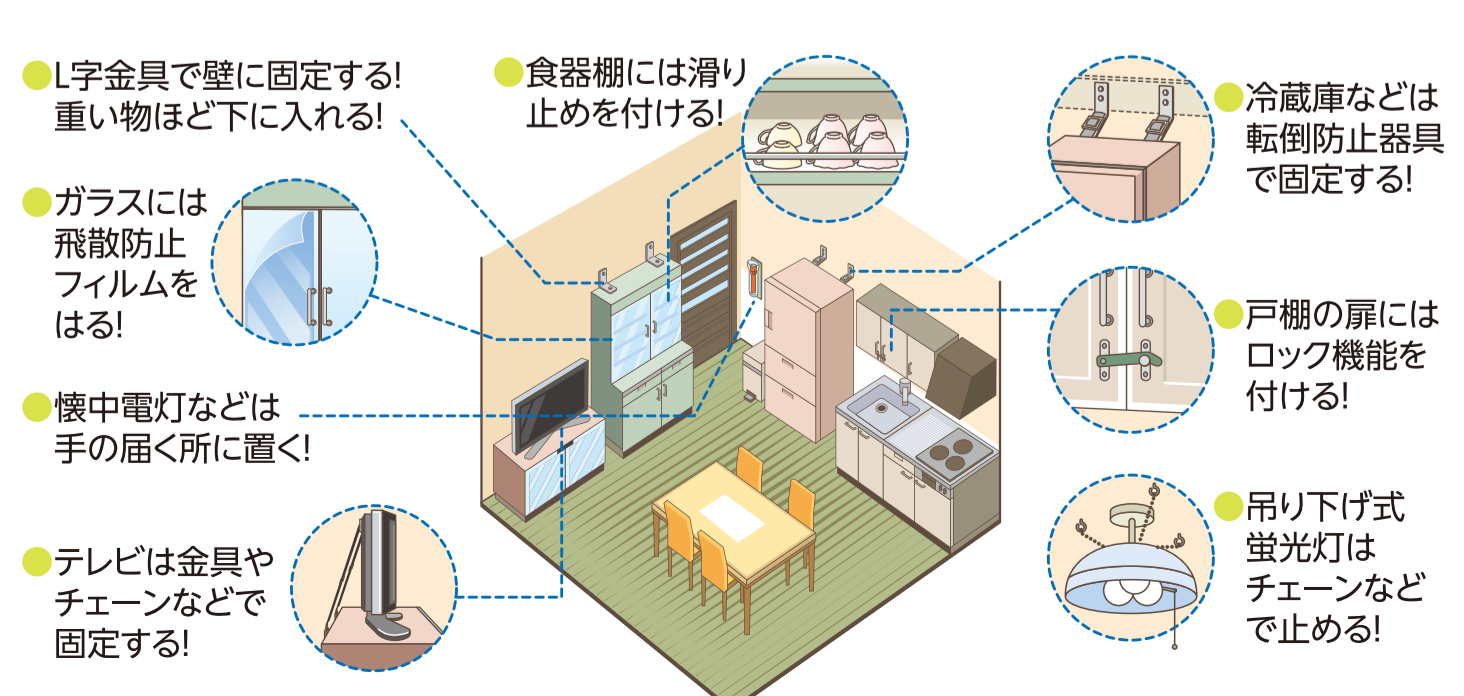


#### 川越市の助成制度

- ▶ 無料耐震相談会
- ▶ 無料簡易耐震診断
- ▶ 耐震診断補助金制度
- ▶ 耐震改修補助金制度
- ▶ ブロック塀等撤去補助金制度

耐震に関する問い合わせ先：川越市 都市計画部建築指導課 電話：049-224-5974

#### 家の中を安全にしよう!



## ライフライン被害・避難への備え

地震時には、電気、ガス、上下水道、通信設備が被害を受ける可能性があります。また、緊急時にはすぐに避難できるよう、日頃から災害に備えて準備しておくことが大切です。

#### 事前に準備しておこう チェックしてみよう!

- すぐに避難できるよう準備しておこう!**
- 非常持出品**
- 非常用食料・飲料水
  - ラジオ
  - 懐中電灯(予備の電池も用意する)
  - ビニール袋
  - ヘルメット、防災ずきん
  - 軍手
  - 貴重品(現金、印鑑、預金通帳、保険証など)
  - 携帯電話の充電器
  - 生理用品、おむつ
  - 新聞紙
  - 運動靴
- ライフラインが復旧するまでの間、生活できるよう備えよう!**
- 非常備蓄品**
- 3日分の食料・飲料水(推奨1週間分)
  - 簡易トイレ
  - トイレトペーパー
  - カセットコンロ、予備のガスボンベ
  - 簡易食器(紙皿、紙コップ、わりばし)
  - 洗面用具(歯ブラシ、タオル、ドライシャンプーなど)
  - キッチン用ラップ、アルミホイル
  - 飲料水を貯めるポリタンク
  - 工具類(ロープ、バール、スコップなど)
- <赤ちゃんがいる家庭>**
- ミルク、ほ乳びん、おむつ、おんぶひも、ミネラルウォーター、防寒着、帽子、衣類、パグなど
- <高齢者や身体の不自由な方がいる家庭>**
- 常備薬、お薬手帳、看護補助具、おむつ、予備の補聴器、障がい者手帳など
- <感染症対策として>**
- 不織布マスク、体温計、使い捨てビニール手袋、スリッパ、アルコール消毒液、固形石鹸、ビニール袋、除菌シート等
- 登録しておこう!**
- 「避難所開設状況」などの災害関連情報が入手できます。**川越市防災情報メール配信サービスへの登録方法**
- 登録用メールアドレスに空メールを送る。  
登録用アドレス: kawagoe\_ml@sg-m.jp
- QRコード対応の携帯電話は上のQRコードから空メール送信ができます。  
https://service.sugumail.com/kawagoe/member/ にアクセス

#### 地域の活動に参加しよう

大規模な災害が発生した場合、市や警察、消防署等の公共機関は、道路網の寸断、同時に発生する火災などへの対応で、市民一人ひとりの要請にすぐに対応することなどは困難になります。そのため、災害時には、「自分の命は自分で守る(自助)」や「自分たちの地域は自分たちで守る(共助)」という心構えが大切になります。いざというときに備えて、自治会活動や、地域の防災訓練などに参加しましょう。

## 避難の留意点



## 家族のメモ

我が家の避難場所		災害時の緊急避難先	
		※確実に連絡の取れる親類・知人など	
家族の名前	生年月日	血液型	会社・学校
		名称	TEL
		名称	TEL
		名称	TEL
		名称	TEL

## ラジオ局 災害用伝言ダイヤル

ラジオ局周波数	
NHK第1	AM 594kHz
TBSラジオ	AM 954kHz
文化放送	AM 1134kHz
ニッポン放送	AM 1242kHz
NACK5	FM 79.5MHz
ラジオ川越	FM 88.7MHz

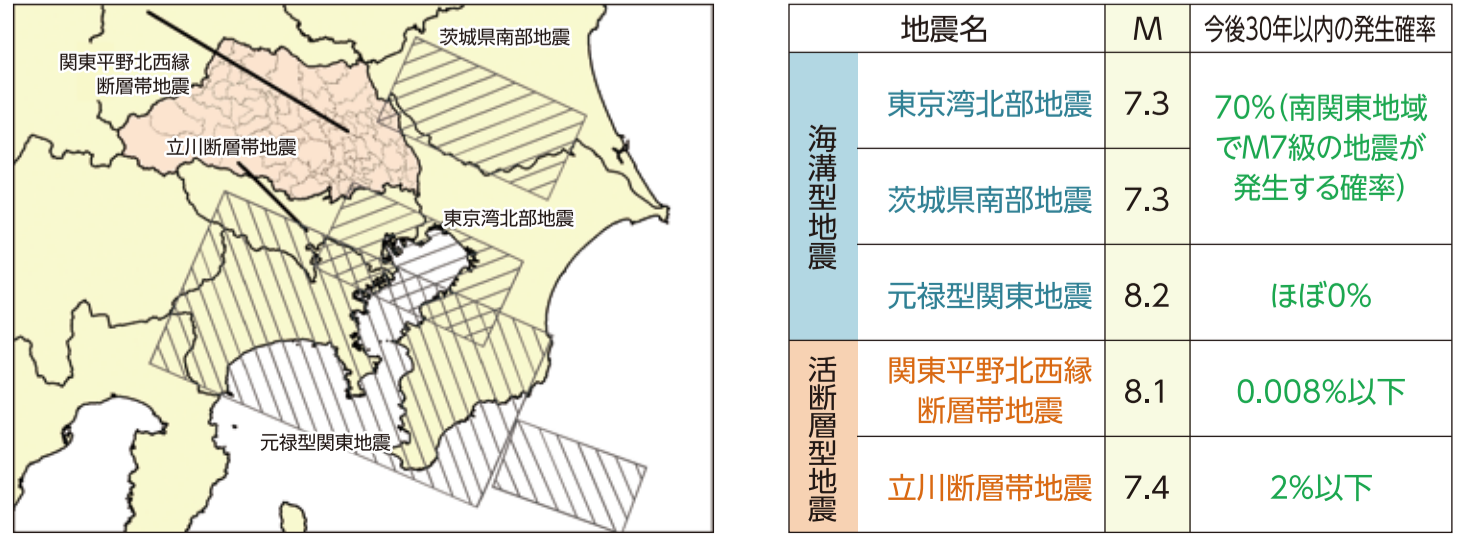
「NTT災害伝言ダイヤル」の使い方

① 伝言を登録する場合(音声案内があります)  
[171]をダイヤラー-音声ガイドに従い[1]をプッシュ  
→049-xxx-xxx(被災者の電話番号)

② 伝言を聞く場合(音声案内があります)  
[171]をダイヤラー-音声ガイドに従い[2]をプッシュ  
→049-xxx-xxx(被災者の電話番号)

詳しくは <http://www.ntt-east.co.jp/saigai/>

## 想定地震の震源断層



## 想定される震源とマグニチュード

地震名	M	今後30年以内の発生確率
東京湾北部地震	7.3	70%(南関東地域でM7級の地震が発生する確率)
茨城県南部地震	7.3	
元禄型関東地震	8.2	ほぼ0%
活断層型地震	8.1	0.008%以下
立川断層帯地震	7.4	2%以下

※平成24-25年度埼玉県地震被害想定調査に基づく。